

資料 2 - 1

平成 20 年度 第 1 回 ExTEND2005 作用・影響評価検討部会
議事要旨（案）

I 日時：平成 20 年 9 月 11 日（木） 10:00~12:00

II 場所：虎ノ門パストラルホテル 新館 5階 ミモザ

III 出席者（敬称略）：

委員：遠山千春（座長）、斎藤昇二、白石寛明、菅谷芳雄、藤井一則

※欠席委員：原 彰彦

参考人：井口泰泉、江藤千純、鑑迫典久、戸笈 修

事務局：木村環境安全課長他

IV 議題：

議題 1 ExTEND2005 における魚類試験法開発について

議題 2 ExTEND2005 における両生類試験法開発について

議題 3 ExTEND2005 における無脊椎動物試験法開発について

議題 4 ExTEND2005 における詳細調査の検討について

議題 5 その他

V 議事要旨

(1) 魚類試験法開発について進捗状況が報告された。

【委員からの主なご意見】

- ・平成 20 年 6 月に、OECD より、魚類スクリーニングアッセイのテストガイドライン案に対するコメント要請がアナウンスされている。今後行われるコメントへの対応方法について明確にしていきたい。

(2) 両生類試験法開発について進捗状況が報告された。

【委員からの主なご意見】

- ・アフリカツメガエルと比較してニシツメガエルの利点について国際的にはどのように認識されているか明確にしていきたい。
- ・変態アッセイで使われた物質の環境中での検出例について整理いただきたい。
- ・得られた成果については論文化していただきたい。

(3) 無脊椎動物試験法開発について進捗状況が報告された。

【委員からの主なご意見】

- ・内分泌かく乱作用と繁殖とを結びつける何らかの考え方をある程度確立する必

要がある。

- それぞれの課題についてマイルストーンを明確にし、ある時期でチェックをして、その方針を具体的に公開いただくという進め方をお願いしたい。

(4) 詳細調査の検討について、化学物質の内分泌かく乱作用に関連する報告の信頼性評価作業班の設置（案）に関する説明が行われ、検討された。

【委員からの主なご意見】

- 信頼性を評価するに当たって用いる基準を明確に定めて、公開していただきたい。また、信頼性評価の結果、全体の傾向なり概要なりをまとめて公開していただきたい。
- 1つの文献に関して作業班の複数の方が検討することとしていただきたい。

以上